都留一中ＰＴＡ新聞

校訓『勉学・勤労・規律』

瓦版 KAWARABAN

第２号
平成３０年１２月１９日
発行責任者
平成３０年度広報委員会

ＰＴＡ活動への協力を

～全国ＰＴＡ大会、市ＰＴＡ集会に参加して～

ＰＴＡ会長　宮澤　哲児

八月二十四日・二十五日の二日間にわたり、日本ＰＴＡ新潟大会が行われました。都留市ＰＴＡ連合会を代表して七名が参加し、本校からは跡部教頭、市Ｐ連須田会長と共に三名で出席しましたが、とても有意義な研修となりました。

分科会では、ネット社会における大人の役割について兵庫県立大学の竹内和雄氏による講演が行われ、クイズ形式で進む講演内容に引き込まれました。子供達にスマートフォンが急速に普及する中、その使用方法について一方的に保護者がルールを決めず、親子で話し合い家庭でのルールを作り実践していくことが必要だと感じました。

また、日本ではパソコンへのウイルス対策ソフト導入率に対して、スマートフォンへのソフト普及率が極端に低いということでした。インターネットトラブルが増加する中、悪質サイトなどから子供達を守るために、保護者がフィルタリングソフトやペアレンタルコントロールを活用するのも有効な対策だそうです。現在インターネット依存は日本でも状況が深刻化しています。ネット依存に陥らないためにも、子供達には学校や日々の生活の中で、自分で自分をコントロールする力や我慢力を身につけて欲しいと思います。

九月には「学校・家庭・地域で育てる心の教育」をテーマに、都留市教育を語る会（市ＰＴＡ連合会の研究集会および義務振興集会）がうぐいすホールで開催されました。教育に関わる要望や学校施設や通学路の改善等についての陳情を市に対し行いました。

また、前丹波山村教育長の柳場正喜氏を講師に迎え、「学校は地域の核であり子供は地域の宝である」をテーマに講演していただきました。子供は学校だけ、家庭だけで育てるものではなく、双方が力を合わせて育てる。また、地域の宝である子供達を皆で育てる。という意識を持つことが大切だというお話でした。本校からも保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。

早いもので会長に就任し九カ月が過ぎました。様々な研修会に参加させていただく機会を頂き、私自身とても勉強になりました。子供を守る・見守る立場として、考えさせられることが多くありました。保護者の方にもぜひ講演会などに積極的に参加していただけたらと思います。

親子美化作業

ボランティア委員会
委員長　大津　英明

ボランティア委員会では、八月十八日（土）の夏休みの期間中を利用し「親子美化作業」を開催いたしました。保護者の皆様におかれましては、休日のお忙しい中、また早朝よりお集まりいただきありがとうございました。この作業は毎年の恒例の行事ではありますが、子供たちがより良い環境で過ごせるようにという趣旨で開催しており、今年もたくさんの保護者の皆様、生徒達、先生方にご参加いただき、グラウンドの草むしりや側溝の砂だし、校舎・体育館周りの草刈りなどを実施いたしました。八月の厳しい暑さが予想されましたが、事故や怪我もなく無事に終了することができました。グラウンドも校舎周辺も大変きれいにすることができました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

すみよし祭に参加して

教養委員会
委員長　熊谷　利香

今年のすみよし祭ＰＴＡ参加競技は「玉入れ」ということで、誰でも気軽に参加できて良かったです。玉入れの籠までの距離が遠くて、女性には難しかったように思います。また、保護者と生徒が交代して行いましたが、玉を渡すときに親子のほほえましい姿がたくさん見られました。

ＰＴＡ参加という意味を子供たちも含め周知し、意義のあるものにしたいと感じました。そういった点も踏まえ、今年の競技は参加する方と見学している方が盛り上がり、大変良かったと思います。

一つの競技ですが、生徒、保護者の皆様、先生方が思い出に残るものになるよう、今後も協力していきます。

各学年のボランティア委員の皆様、準備・後片付け等、お疲れ様でした。また、山口先生をはじめとする委員会の担当の先生の皆様、事前の準備や段取り、当日の進行などご協力いただきありがとうございました。

学年部会行事報告

二学年部会長
富永　芳江

十一月二十三日木曜日、二学年部会行事として『都留興譲館高校の先生による出前授業』を開催しました。多くの保護者の皆様に参加して頂き、とても有意義な時間となりました。

一組普通科、二組工業科、三組英語理数科とクラスごとに行いました。学校生活や行事の様子を映像で見たり、物理や工業科の授業は大変興味深かったことと思います。

来年の四月には、三年生となり、進路を決める大切な時期となります。今回の授業を通し、親子で進路について話し合うよい機会になりました。

三学年部会長
奈良　育子

中学校生活も残り三ヶ月、三年生は様々な行事を通し、各自がいろいろな経験の中で、成長できた一，二学期だったと思います。

三学年は、十月二十六日に部会行事として「高校入試説明会」を行いました。小澤先生より今後の入試までの日程や準備に関する事など細かく説明して頂きました。親子共に有意義で身の引き締まる説明会となりました。残り数ヶ月、子供達は、自己の目標達成のために努力し、家庭では心身のサポートをして、高校入試を乗り切っていきたいと思います。そして、都留一中の三年生として、先生方や友人、後輩たちに感謝し未来へと笑顔で巣立っていければと思っています。

第53回 すみよし祭を終えて

生徒会長　神戸　奏人

一，二年生ですみよし祭を経験し、三年生としての今年、中学校生活最後のすみよし祭となりました。第五三回という伝統あるすみよし祭に緊張感と責任感が湧いてきました。一学期中から取り組みを始め、夏休み中も活動し、着実に前に進みながら二学期を迎えました。『色彩～一人一人の色で笑顔と感動を～』というテーマのもとシンボルマーク・テーマソングが決まり、本格的に取り組みが始まると、全校が一つになっていくのを日々感じました。

今年も昨年度と同じようにクラス数に学年で違いがあったため、2ブロック制で実施しました。

そして、迎えたすみよし祭当日。文化の部、体育の部共に白熱したものとなり、大成功となりました。最後のムカデ競争では、一，二年生が転倒するというアクシデントもありましたが、三年生の熱い応援もあり、全クラス完走することができました。全校でお互いをたたえ合う姿はとても感動的でした。

私は、生徒会長として、心配なことや不安なこともありましたが、その度に先生方や全校生徒の皆さんに支えられ助けられました。みんなで成功させたすみよし祭。改めて今年度生徒会スローガンである『共律共助』の素晴らしさに気づくことが出来ました。これからも共律共助の精神を忘れず、「さすが一中生」と言って頂けるよう努力していきます。

先生方、保護者の皆様、地域の皆様、これからもよろしくお願い致します。

一年学年生徒会長　中川　晴香

四月に入学し中学校生活にも少しずつ慣れてきた一学期終わり頃に、すみよし祭の取り組みが始まりました。中学校に入学してから初めての大きな行事、『すみよし祭』を前にして、たくさんの不安がありました。学年生徒会を中心に活動を進め、少しでも先輩の支えになるよう、学年全員で協力し頑張りました。上手く行かない事も何度もありましたが、一回一回気持ちを入れ替えて、協力し活動しました。学年発表の『折り鶴～サダコからのバトン～』は夏休みも練習に励み本番では、素晴らしいものを発表する事が出来ました。

また合唱では、クラス合唱・学年合唱それぞれ練習を重ね、小学校の時とは一味違う素晴らしいものを作り上げる事が出来ました。先輩方の学年発表や合唱は、とても素晴らしく迫力があり、この伝統を受け継いで行くのだと改めて感じる事が出来ました。

体育の部では、入場行進から得点が付くのでブロック毎に全力で取り組みました。特に、三年生のソーラン節はとても格好よくて、三年生のすみよし祭にかける思いを感じました。初めてのすみよし祭で、先輩方の一生懸命な姿を見てこれが『一中の伝統』なのだなと感じました。

二年学年生徒会長　髙部　彩音

すみよし祭では、「色彩～一人一人の色で笑顔と感動を」というテーマで取り組んできました。二年生は中堅学年という、三年生を支え、一年生をリードする立ち位置となり、不安は募っていきました。ですが、仲間と協力し、少しずつ前へ進むにつれ、不安は消えていきました。二学年は昨年の経験を元にし、様々な困難な問題も解決していきました。昨年は先輩方に頼ってばかりだった自分達が、頼ってもらえる先輩に代わっていることを我が身をもって感じられ、とても達成感で満ちあふれていました。このすみよし祭では様々な成果がありますが、なかでも「全員が一つの事に気持ちを合わせることができた」ということが大きな成果だと思います。すみよし祭が終わっても、このことを忘れずより良い都留第一中学校を支えられる様な三年生になりたいと思います。また、これからは修学旅行、すみよし祭などの行事を通し、中堅学年よりも一歩上の学年としての、正しい姿勢や態度を見せ、全員で成功させていきたいと思います。

三年学年生徒会長　奈良　佳音

私たち三学年は、すみよし祭を通して、学年の絆も深まり、とても成長したと思います。今年のすみよし祭が最後だったので、学年一人一人が意識を高め、全員にとって最高のすみよし祭にしようという強い思いが感じられました。取り組み期間中には、最高学年として引っ張っていく上で、思い通りにならないことや大変なことがたくさんありました。しかし、その分すみよし祭の二日間は、とても達成感があり、最高のすみよし祭となりました。特に、最後の全校合唱ケサラでは、全員が一つになり、とても感動する合唱になりました。しかし、まだ私達には、最後の大きな目標があります。それは受験です。しっかり一人一人が進路と向き合うことが大切だと思います。全員が希望する進路に合格できるようにみんなで切磋琢磨し、お互いを高めあって頑張ります。そして、このすみよし祭を通過点として、卒業する時にこの学年で良かったと学年全員が思えるように、ケサラ以上に良い合唱ができるように、勉強面、生活面ともに力を入れていきたいと思います。

編集後記

二学期もあっという間に過ぎすみよし祭、新人戦と何かと忙しい日々だったと思います。子どもたちも一学期より成長したと思います。いろいろな行事やテストと、まだまだやることもたくさんありますが、頑張って欲しいと思います。また、今回も『瓦版』編集にあたり、ご協力頂きました皆様方には感謝をしております。いろいろありがとうございました。今年も残り僅かですが、お体には充分に気をつけて新しい年を迎えられますよう心からお祈り申し上げます。次回で最終回の第三号『瓦版』もお楽しみに。

委員長　関戸一二三
副委員長　天野　角子
委員　外川　いづみ
亀田　めぐみ
小俣　幸子
小高　広恵
錦織　裕子
古屋　典子
田村　恵理
奥脇　優子
小澤　ゆり
上杉　弥生
渡邉　文香
宮下　絵美
數野　慶

担当教諭